

施設スタッフの声

フードバンクさんの活動を知って、日本の食品ロスの量と食べられない家庭との矛盾を痛感します。また、子供たちの支援は本当にありがたいと感じます。当団体は、フードバンクさんのおかげで活動の幅を広げることができました（イベントや合宿等）ので、感謝しかありません。いつもありがとうございます。

（日野市・子ども無料塾）

いつもありがとうございます。必ず事前にお電話をくださり、提供品の内容、量等を伝えて頂いているため、受け取る側としても負担も少なく、こちらの要望を聞いて頂けるため、とてもやりやすく感じております。いつも調整していただき、感謝しております。今後もこのような形でお付き合い頂けたらと思っております。

（八王子市・児童養護施設）

野菜をいただくと、その週の昼食のメニューがバラエティ豊かになりました。おかげさまで野菜嫌いの子どもも少しずつ野菜が食べられるようになりました。日々の子どもたちの食育につながっています。また、貧困の子どもさんへの昼食、おやつなど役だっています。

（日野市子ども食堂）

皆さんの活動は、とても貴重な活動であると、職員一同考えております。当施設は生活を困窮されている世帯が多いです。また、退所してもギリギリの生活をしています。無料塾にきている子供たちには、毎回おにぎりを提供しています。「無料塾のおにぎりが今回はじめてのご飯です」と言っていた子もいました。

（八王子市・児童養護施設）

資金0からスタートしましたのでお菓子、お米、塩、インスタントみそ汁などの食品を提供していただけるからこの活動ができています。無料での配布ありがとうございます。これからもよろしく願います。お菓子があることも子供たちは大変喜んでいます。

（日野市子ども食堂）

いつもお世話になっています。子どもたちの居場所も兼ねて食事を提供しています。学校の宿題をしたりするので長時間います。食事以外の飲み物やお菓子は大変助かります。ご支援のおかげで子どもたちもゆったりとした時間を過ごしています。大変なご支援を賜り感謝しきれません。

（多摩市子ども食堂）



子ども支援プロジェクト



子どもたちにとって、楽しいはずの夏・冬休みですが、その時期になると、給食を食べることができず、普段より体重が減ってしまう子どもたちがいます。

一部の家庭では、食費や光熱費が増加することで、普段以上に苦しい生活を余儀なくされてしまう現状がある、といいます。フードバンクTAMAの「こども支援プロジェクト」は、そのような子どもたちが夏・冬休みを少しでも楽しく過ごせるよう、フードバンクから子どもたちに食品をお届けする取り組みを実施しています。

平成 30 年・31 年・令和元年の 夏休み期間中、立川市と日野市のご家庭約 50 箇所に 様々な食品を詰めたダンボールを送る支援を行うことができました。また、いくつかの施設や子ども食堂、日野市のおむすびキッチンに集まる子どもたちのための食料支援を行いました。

更に、日野市社会福祉協議会がひとり親家庭の子どもたちを対象に行ったイベントに、可愛い袋に詰めたお菓子類のセットをお届けしました。冬休みも、ご家庭に食品を詰めたダンボールをお送りすると共に、立川市や日野市の子どもたちにはクリスマスプレゼントとクリスマスケーキをお届けしました。



IVUSAの学生さんと箱詰め作業

子ども支援プロジェクト報告

フードバンク TAMA は、子どもに焦点を置いた活動を行う目的に基づき、主にひとり親世帯の子どもたちへの食料支援を行うために、平成 29 年・30 年・令和元年に「夏・冬休みフードバンク子ども支援プロジェクト」を実施しました。

食品のご提供や寄付金をいただきました企業の皆様、また、個人的支援をしていただいた皆様に篤く御礼申し上げます。来年度も引き続き子ども支援プロジェクトを展開していきますので、ご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。



～お母さん方からの声～

菓子類や調味料が嬉しいです。お菓子は家の経済状況によって買えない時もあるので、宅配で送られてきた時には親子で喜びました。そして食べたことのない高級品も入っていることもあり、そんな時は親も食べたりしています。

ダンボールを開封する時、いつもワクワクしています。寄付してくださる方々、フードバンク TAMA さんのボランティアの方々、たくさんの方々の気持ちを感じながら、食べさせていただきます。素敵なプロジェクトに感謝の気持ちでいっぱいです。

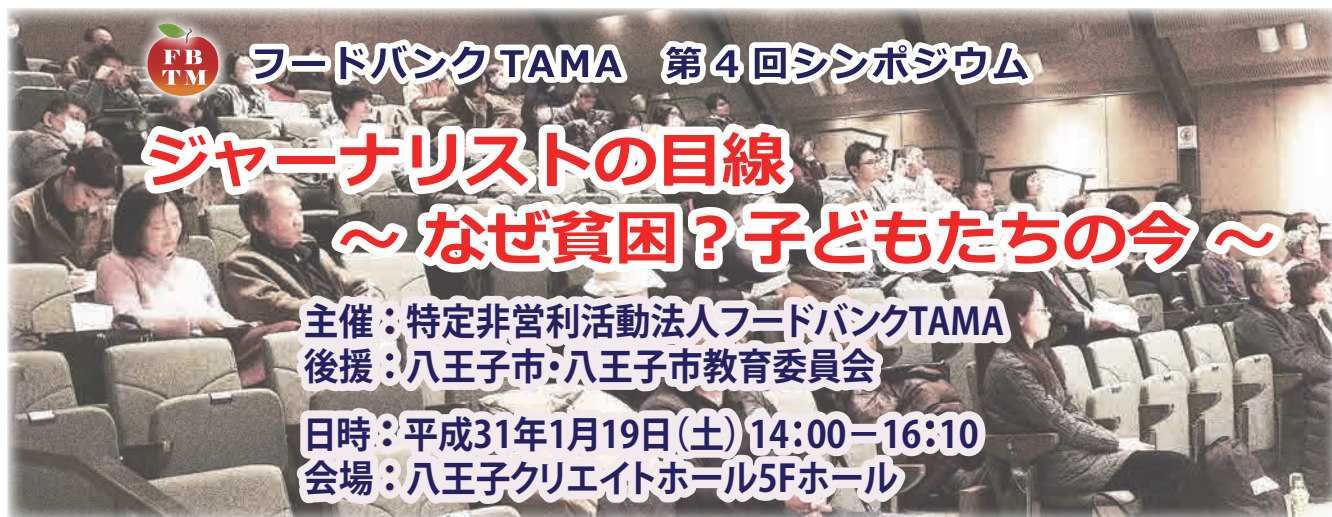
食品が届くと子供たちは喜んでダンボールを開けています。届いたものに対してコメントを言い合う等会話も増えました。簡単に作れる物は、中学生の子供が帰宅後、夕飯前までの間に作ってもらえ、私の家事軽減につながり助かります。

いつも節約でおもいきり買物をするのがないので、私も子供もフードバンクからの食品提供はとても嬉しいです。家計の負担の軽減はとても大きいですし、何より、このような取り組みで、助けてくれる方々がいるという事を感じ、孤立感が薄らぐ気がします。

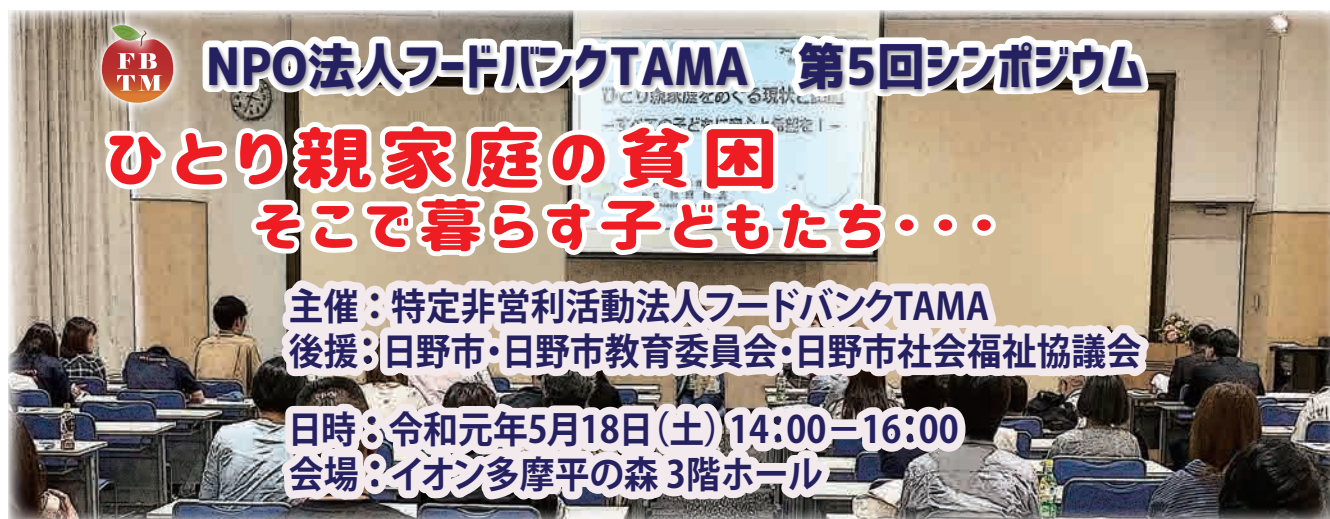
いただいた食品が、まるで宝箱を開けるように、子どもたちも大喜びです。本当に感謝しきれません。パスタも丁度無くなって買おうとしていた時でした。していただいたことを胸に、いつか他の為に力になれば！という思いで一杯です。

お金がなくて子どもに食べさせられないというのは辛いです。自分が朝・昼食を食べないのが日常です。時々イライラしてしまい「ママがご飯も食べず頑張っているのに・・・」と子どもに怒ってしまう事もあります。フードバンクさんの支援、本当に感謝しています。

シンポジウム



初の八王子市のシンポジウム開催にもかかわらず、寒い中、70 名の方にご参加いただきました。八王子市役所の一杉昇子様によるご挨拶、共同通信社生活報道部の山本大樹様の基調講演、更に自立支援ホームトリノス代表の渡辺剛史様による現場報告など、とても貴重なお話をお聴きすることができました。様々な角度からのお話に共感の声が上がりました。参加された皆さまにとっても実り多い会合になったとの声が寄せられております。アンケートを取らせていただきましたが、賛同する声が多数をしめました。



第5回目のシンポジウムをイオン多摩平の森イオンホールにて開催いたしました。約70 名の方にご参加いただきました。日野市社会福祉協議会常務の佐野栄一様によるご挨拶、朝日新聞社文化くらし報道部記者・山内深紗子様による基調講演、更に立川市ひとり親家庭福祉会立川みらい会長・篠原輝美様による報告、その後の質疑応答といった内容で、とても充実した時間を過ごすことができました。お二方とも体験を元にしたお話でしたので、うなずかれたり、涙をながしたり、メモを熱心にとる参加者もいらっしゃいました。アンケートを取らせていただきましたが、賛同する声が多数をしめました。

刊 行 物

以下は、2019年に発行した刊行物です。

フードバンクTAMAシンポジウム



ひとり親家庭の貧困 そこで暮らす子どもたち・・・

平成31年 後援 日野市・日野市教育委員会・日野市社会福祉協議会

5月18日(土) 14:00～16:00 [13:30開場]

入場無料 イオン多摩平の森3階ホール

※ 事前申し込みは不要です。

内容

山内 深紗子 氏 [朝日新聞社文化くらし報道部記者]
篠原 輝美 氏 [立川市ひとり親家庭福祉会 立川みらい会長]
質疑応答

来てねえ～

ご家庭の食品をお持ち下さい！

シンポジウム当日、ご家庭にある消費期限が1ヶ月以上あるレトルト食品、缶詰、調味料、お菓子、等をご持参いただければ幸いです。フードバンクTAMAが児童養護施設等に責任をもって寄付させていただきます。

【主催】特定非営利活動法人フードバンクTAMA
問合せ:080-6814-3657 foodbank.tama@gmail.com http://foodbank-tama.com





フードバンクTAMA会報

2019.5.18 No.5

特定非営利活動法人フードバンクTAMA
〒191-0062 日野市多摩平 5-3-2
プレジャーガーデン豊田武蔵館 101
TEL:080-6814-3657
Email: foodbank.tama@gmail.com



子どもに安全で美味しい食を：賞味期限は必ず点検！

フードバンク活動に参加して1年。私自身、この間、何が変ったかと言えば、以前は気にも留めなかった食品の「賞味期限」に関心が強まったことだ。スーパーに買い物へ行っても、買いたくないのに容器や包装をひっくり返し、賞味期限をチェックするのが習性となってしまった。

フードバンクは食品を扱う奉仕活動。食品製造、販売、流通業者とまともに比較はできないものの、当然ながら共通部分が多い。

食の安全管理、特に「賞味期限」には神経を吐く。フードドライブ、個人や企業から寄贈を受ける食品は「賞味期限が2か月以上先のもの」とお願いしている。

でも、さまざまな事情から期限切れのものが時には混在する。集まった食品をひとつひとつ調べ、期限切れのもの、開封されたもの、劣化しているものを取り除くのもメンバーの大事な仕事だ。

昨年の日野高校文化祭で提供



今は食べられん人も一杯いはるのに、あななたちはぜいたくすぎる

私がフードバンクTAMAの活動に参加するようになったのは、一昨年、日野市こみせロ推進講座の講演会にサポーターとして参加していた時、友人からフードバンクTAMAの活動のお手伝いをしてみたら、と言われたのがきっかけです。

どのようなお手伝いができるかも全く分からないまま、他のボランティア活動の時間を調整しながら、食品倉庫への搬入や仕分け作業、シンポジウムのお手伝い等に参加してきました。

昭和30年代の始め、小学校の給食で好き嫌いの多かった私は食べるのがとても苦痛でした。ある日の夕食でそのことを母に伝えたら、「今は食べられん人も一杯いはるのに、あなた達はぜいたくすぎる！」と姉妹に叱られました。

60年経った今も、子どもの貧困問題がある意味深刻なことを活動に参加し、様々な情報で知りました。また、大量に食品が廃棄処分される食品ロスに心も痛みます。

私一人では何の力もありませんが、1人でも多くの友人・知人に声をかけ、実情を語り、フードバンクTAMAの活動に協力していただける方を増やしていきたいと思い、地道に行動しています。

子ども支援プロジェクトの報告で母さん方からの「いただいた食品がまるで宝箱を開ける様に皆で楽しみながらいただきました」とのお声に接し、微力ながらボランティアの活動に参加させていただいている私こそ感謝です。この楽しい活動が健康で長く続けられるように今後も頑張っていきたいと思う今日この頃です。

市川 乙恵 (ボランティア：日野市在住)

フードバンクTAMAの役割

日本ではまだ食べられるのに廃棄されている食品が約646万トンと云われています(農水省平成27年度推計)。その内訳は、約55%が企業から、45%が家庭から廃棄されています。

一方で、「子どもの6人に1人が相対的貧困」また、「1人親家庭の半数が貧困」という現実があります。

私たちフードバンクTAMAは、そうした状況を踏まえ、児童福祉施設や子ども食堂等、また、1人親家庭等に、食品を無償提供する活動を展開しています。



特色ある活動

■ 未来を担う子どもたちに思いを！

児童福祉施設や子ども食堂等への食品提供の際には、施設側のニーズ等を伺いながら、顔の見える支援、血の通った支援を心掛けています。

■ 地域に根差したフードバンク活動！

地元の企業や個人、自治体、児童福祉施設等、それら三者との絆を構築する地域密着型の活動を何よりも重視します。

地域の問題として、貧困家庭の子どものことを考え支援を図ります。こうした地域密着型のフードバンクTAMAの活動が、地域の絆を強め、地域の安定に寄与できるのではないかと考えております。

食品の寄付にご協力を！

■ 企業様によるフードバンクへの寄付

廃棄コストを削減でき、地球温暖化を止めるためのCO2削減に貢献できます。また、企業の社会的責任(CSR)を果たすことができます。

当フードバンクと合意書を書いた企業様による食品寄付は、食品提供に要する費用を損金の額に算入できます。詳しくは、右記サイトを参照ください。



■ 個人の方や農業を営んでいる方の寄付

児童福祉施設等が必要としている食品は、個人の方からの寄贈が大変役に立ちます。バラエティなお菓子やレトルト食品、調味料、及び野菜等を提供できるからです。

■ フードドライブでの寄付

一定期間内に特定の場所で皆さまに食品をお持ちよりいただく活動をフードドライブといいます。これまで日野自動車労働組合様やひの市民リサイクルショップ回転市場様等で実施していただき、多種多様の食品を寄付していただきました。今後、そうした際には、是非ご協力を！

- たい
寄贈を
食品類

 - ・お米(白米・玄米・アルファ米)
 - ・レトルト食品・インスタント食品・缶詰
 - ・パスタ・素麺などの乾麺、お菓子類
 - ・調味料(醤油・食用油・味噌など)
 - ・のり・お茶漬け・ふりかけ
 - ※賞味期限が1ヶ月以上あるもの
- の
食品類

 - ・賞味期限が明記されていない食品
 - ・冷凍食品
 - ・開封されているむき出しの食品
 - ・生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
 - ・アルコール(みりん、料理酒は除く)

寄付された食品の提供先

日野・八王子・立川・昭島市等、多摩地域の児童福祉施設、子ども食堂、学習支援施設、無料塾、生活支援・母子家庭支援施設、子育て支援施設及び諸団体等に定期的・安定的に食品を無償提供しております。

また、個々の生活困窮家庭等については、各市の社会福祉協議会等と連携した支援を行っております。

子ども支援プロジェクト



子どもたちにとって、楽しいはずの夏・冬休みですが、その時期になると、給食を食べることができず、普段より体重が減ってしまう子どもたちがいます。

また家庭では、食費や光熱費が増加することで、普段以上に苦しい生活を余儀なくされてしまう現状がある、といえます。

フードバンクTAMAの「子ども支援プロジェクト」は、そのような子どもたちが夏・冬休みを少しでも楽しく過ごせるよう、フードバンクから子どもたちに食品をお届けする取り組みです。



お母さん方からのご感想

●親子で必死に頑張らなくては生活が成り立たないのが現状です。荷物が届くたびに中身もですが、自分たちを見ていてくれる人がいるという安心感は本当にありがたかったです。

●フードバンクTAMAさんの活躍によって多くの子どもたちが喜んでます。今後の活躍を期待しております。日々感謝しております。

●食品は生活上欠かせないものなので、生活苦の今は大助かりです。また、買物も重労働なので宅配は負担が半分軽減されます。ありがとうございます。

●想像以上にバラエティに富んだ内容でした。どうしても主食をメインに購入しますが、欲しくても我慢しなければならぬ物が入っていることも嬉しかったです。

日野市フードパントリー活動

令和元年11月～2年3月の間、経済的困窮により食料支援を必要としている個人・家族に直接、食品を提供するパントリー活動を、日野市や日野市社会福祉協議会などと連携し、実施しています。その目的は、日野市在住のひとり親家庭や失業などの何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の方々を支援します。この活動は、単に食料支援だけではなく、各食品受取施設に来られた方々を、より適切な対応のため日野市の福祉行政の生活相談窓口へ繋ぐ目的があります。



日野市在住のひとり親家庭や失業中の方は、誰でも以下の方法で、食品を詰めたダンボールを受け取ることができます。

手順

1

以下の社会福祉施設等へ行く
日野市社会福祉協議会 2 箇所、市内社会福祉施設 2 箇所、
フードバンク TAMA 事務所
※事前申請は不要。

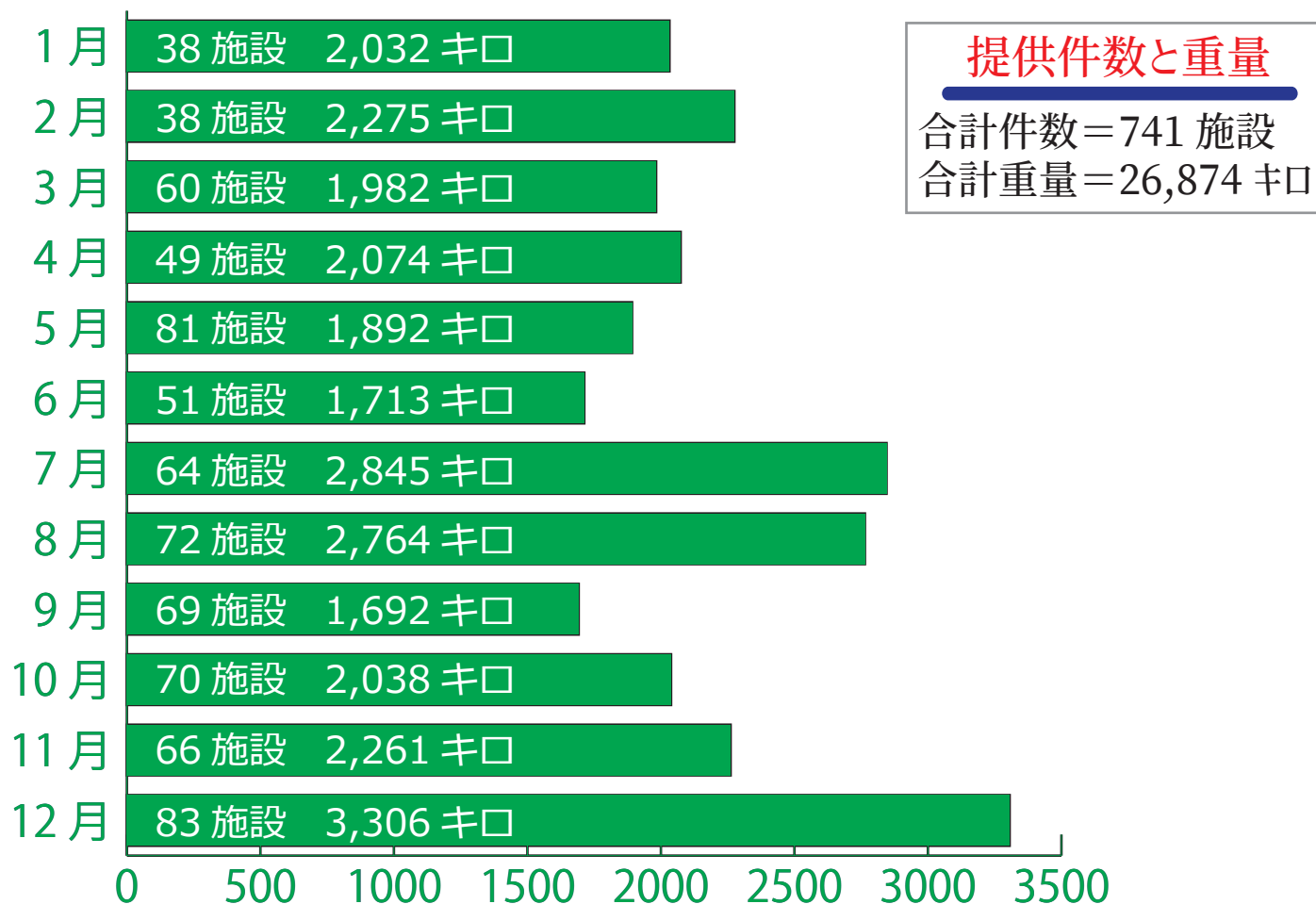
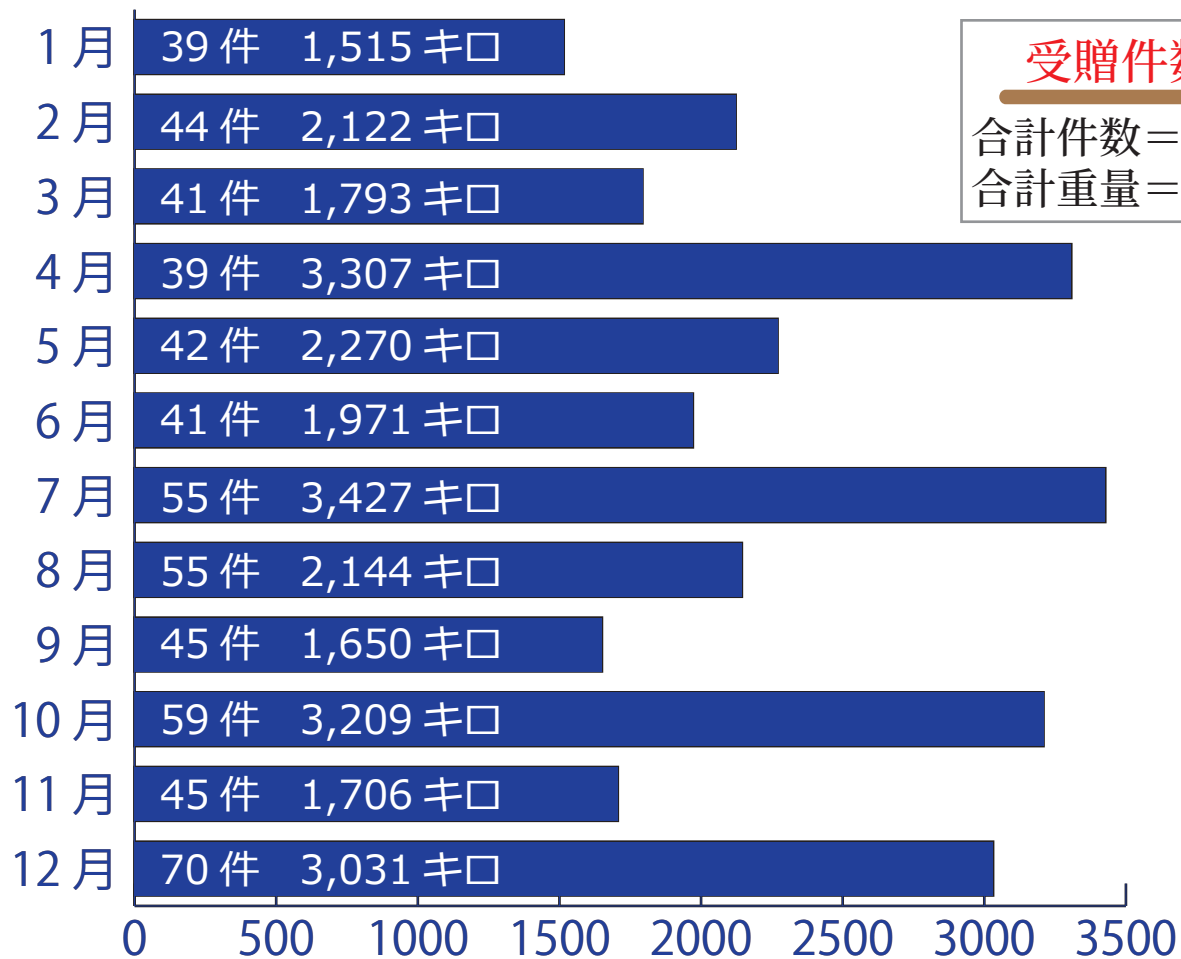
2

社会福祉施設等での手続き
① アンケートに回答する。
② 「受取条件承諾」欄にサインする。

3

食品ダンボールを受け取る

2019.1～12 の受贈・提供実績



フードバンク TAMA の歩み

- ・ H28.9.16「特定非営利活動法人フードバンク TAMA」として東京都から法人認証
- ・ H29.1.19 日野市社会福祉協議会とフードバンク TAMA が連携協定を締結
- ・ H29.4.15 第 1 回シンポジウムを「共に考える子どもの貧困」をテーマとして日野市立中央福祉センターで開催
- ・ H29.7.20「夏休みフードバンク子ども支援プロジェクト」を開催
- ・ H29.11.18 第 2 回シンポジウムを「子どもの貧困と未来」をテーマとして日野市立中央福祉センターで開催
- ・ H30.6.9 第 3 回シンポジウムを「何とかしたい子どもの貧困」をテーマとしてイオン多摩平の森で開催。
- ・ H31.1.19 第 4 回シンポジウムを「ジャーナリストの目線」をテーマとして八王子クリエイトホールで開催。
- ・ H31.5.18 第 5 回シンポジウムを「ひとり親家庭の貧困」をテーマとしてイオン多摩平の森で開催。

各種助成金・補助金

これまで以下の助成金・補助金の交付を受けました。

平成 29 年度村内ファニチャーアクセス助成金、真如苑平成 29・31 年度多摩地域市民活動公募助成金、日野市社会福祉協議会平成 29 年度歳末たすけあい地域福祉活動助成金、WAM 第 2 回未来応援ネットワーク事業助成金、パルシステム東京市民活動助成基金（令和元年度）、令和元年度東京都フードパントリー設置事業助成金

賛助会員を募集しています

年会費

個人会員 2,000 円（1 口）以上 法人会員 10,000 円（1 口）以上

ご寄付のお願い

フードバンク TAMA の活動は、配送用車両の手配も含め、基本的にすべてスタッフの無償奉仕に支えられています。しかし一方で、食品メーカーや生産者、個人など寄贈くださる方々からの食品運搬費のほか、事務所、倉庫の維持管理費、梱包資材などの諸経費が必要です。これらの資金は皆様の会費、寄付金、諸団体の助成金で賄っています。ぜひとも、ご支援をよろしくお願いします。

振込先

① ゆうちょ銀行 記号：10150 番号：91463931

② 三井住友銀行 多摩支店（店番号 688） 普通 口座番号：6909337

③ 多摩信用金庫 八王子中央支店（店番号 063） 普通 口座番号：0251171

※上記 3 金融機関の口座名は、いずれも「特定非営利活動法人フードバンク TAMA」